

第Ⅱ章 リニューアルの概要

1. 既存施設の現況
2. リニューアル計画について
3. 各階の構成
4. 「吉祥寺図書館の在り方について」
（平成27年7月）の具体化
5. 各階の平面計画
6. 設備リニューアル計画
7. スケジュール

1. 既存施設の現況

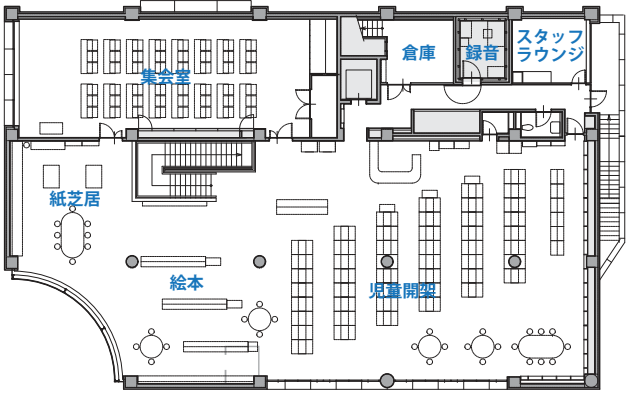
(1)現状と課題

- ・武蔵野プレイスの開館により、市内3駅勢圏に図書館を1館ずつ設置する3館構想が実現され、武蔵野市図書館基本計画においては、それぞれが地域や施設の特性に応じた蔵書資料、逐次刊行物の収集、レファレンスサービスの提供を行うこととされています。
- ・現在の吉祥寺図書館は、蔵書数、貸出数、予約件数といった図書館の主要指標において、他市の地域図書館に比べて同等以上の水準を有します。利用者に関しても、平日昼間においては高齢者、夕方以降は学生やビジネスパーソンの利用が多く、土日休日はこれに親子連れの子育て世代が加わり、多様な層で賑わう図書館です。しかし、一番の特色である吉祥寺駅近接で多くの来街者が訪れるという立地を強みとして発揮できていないのが現状です。

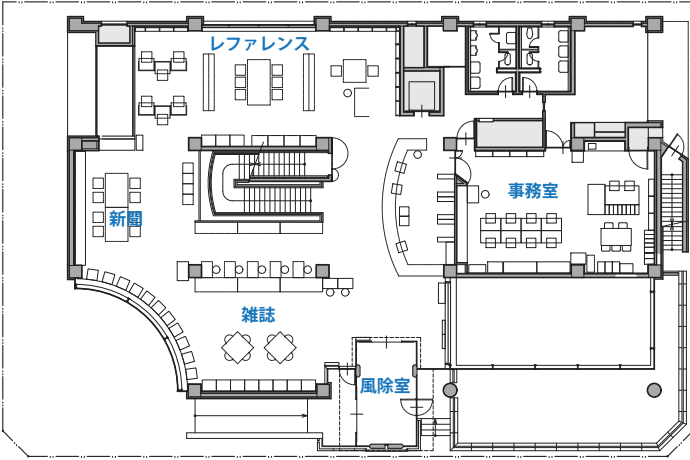
そこで、図書館としての基本的な機能を維持するとともに、地域や施設に応じた特徴を創出し、より魅力的な図書館を目指すため、次のとおり基本課題を設定しました。

- ① 吉祥寺図書館の魅力をいかに高めていくか
- ② 吉祥寺という街の特性、繁華街の真中にあるという立地をいかに活かしていくか
- ③ コンパクトな施設規模をいかに活かしていくか
- ④ 市の全体最適を目指す中で、図書館としていかに課題解決に取り組むか

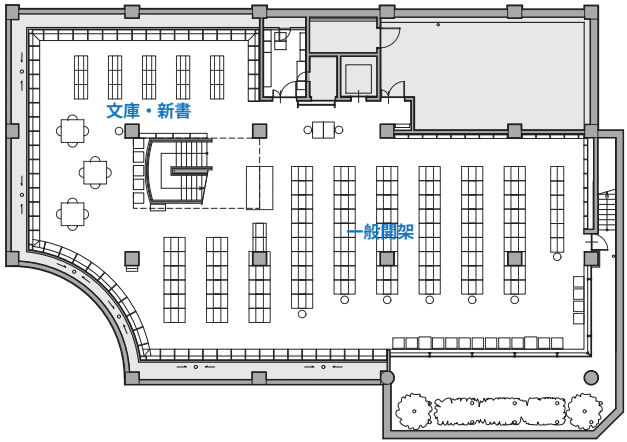
(2)施設の現況



2F



1F



B1F



2階は子どもの専用フロアとなっており、比較的まわりに気を使うことなく、子どもたちが利用しやすいフロアとなっています。



集会室は防音対策がしっかりとされており、映画の上映会等を行える設備も整っています。ただし、開架スペースと明確に仕切られている分、中での活動の様子が、外から感じられにくいづくりとなっています。



トイレなどの設備も築30年がたち、リニューアルの時期となっています。



1階の西側は、大きな開口があり、明るく、気持ちの良い空間となっています。しかし、閲覧席の多くを固定された利用者の方々が占有することが多く、来街者や新たな利用者には入りにくい雰囲気になっています。



現状では、予約本の貸出から、通常の貸出返却、利用者登録や本の検索などの業務をほぼ全てサービスデスクで行っています。そのため、サービスデスクは広さを必要とし、必然的に入口付近が狭められています。



事務室はOAフロアとなっていないため、レイアウト変更等がしにくいづくりとなっています。また、まとまった作業スペースが取れない状態となっています。



サンクンガーデンと吹抜けにより、地下ではありながら、光の入る工夫がされ、落ち着いた雰囲気となっています。



既存の家具は、特徴的なデザインがなされており、吉祥寺図書館ならではの雰囲気を作っています。



1階から地下に通じる階段は、少々重たい印象を受けます。また、地階からの視線を遮るため、手摺には目隠しとなる紙が貼られています。

2. リニューアル計画について

(1) 策定の経緯

平成 27 年度に教育委員会において方針を決定し、文教委員会に行政報告した「吉祥寺図書館の在り方について」（以下、「在り方」という。）において示された基本理念の実現と、吉祥寺の地域特性及び多様なニーズに対応する諸提案を具体化し、利用者サービスの向上を図るとともに「本をきっかけとした新たなつながりづくり」を目指します。

(2) リニューアルの概要

- ・自動返却機及び予約取り置きコーナーの新設、自動貸出機の増設により、予約、貸出及び返却の各サービス機能を向上させるとともに、こうした一連の基本的業務の省力化から生み出されたマンパワーにより「在り方」において提示した新規業務の実施にあたります。
- ・利用者の要望の高い、蔵書・閲覧席の充実、土・日・祝日の開館時間の延長、学習室の設置、Wi-Fi 環境の整備を行い、利便性の向上を図るとともに、図書館を拠点とした賑わいの創出を目指します。

(3) 基本理念

「小さなオアシス吉祥寺図書館 ～気軽に楽しく知的な出会いを～」

吉祥寺というエリアは子どもからお年寄りまで多様な来街者や地域住民を内含しています。利用者カードを持たない来街者、日頃利用しづらい子育て世代、利用の少ない中高生世代等、潜在的利用者を含めたすべての利用者が気軽に立ち寄りたくなる魅力的な図書館を目指し、多様な人々が本を通じて集まり、人とまちと図書館のネットワークを形成していく。そのような思いから上記の基本理念を設定しました。

(4) リニューアルの視点

①施設の有効活用・長寿命化

吉祥寺図書館は、図書館建築の第一人者であった鬼頭梓氏が設計したもので、『市民の図書館』を具現化した日野市立中央図書館、日本建築学会賞を受賞した東京経済大学図書館などと共に図書館建築の王道を示すものです。また、公共建築として、建物の高耐久・長寿命化に主眼がおかれ、耐震壁を適切に配置した堅牢な構造、風化・劣化しにくい煉瓦の外壁など、社会インフラとしての公共建築のあり方が示されています。

- ・細部にまでおよぶ骨太の設計思想は施設の長寿命化に寄与していくことから、オリジナルを尊重して細心の注意を払い、施設機能の更新を図ります。

②ヘビーユーザーの重視

吉祥寺図書館は開館から 30 年を経て、市民の生活に溶け込んでいます。図書館を使いこなし、繰り返しご利用いただいている方々の現状の使い勝手を向上させ、ニーズに対応していくよう、蔵書、閲覧席の充実など、機能の更新を図ります。

③新たな図書館ユーザーの開拓

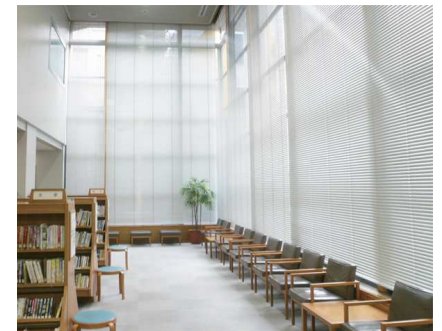
- ・イースト吉祥寺エリアの環境は、当図書館誕生を望まれた地域の活動により、子どもたちや若い人たちが立ち寄りやすい場所になりました。
- ・小さな子どもたちや子育てに奮闘する世代のニーズに対応して、小さな子どもと保護者が一緒に過ごせる場所を充実させます。
- ・また、中高生等の Y A (ヤングアダルト) だけでなく、学習スペースやインターネット環境の整備など、学生・社会人を視野にいれた若い世代に魅力的な図書館となるように、施設機能の充実を図ります。
- ・吉祥寺は休日には多くの来街者で賑わいます。そうした来街者に気軽に立ち寄って楽しんでもらうため、展示スペースを設けて吉祥寺に特化した地元密着情報や様々な企画展示を行います。

④ライブラリー・オートメーション (L.A.) の導入

- ・自動貸出、自動返却、予約本の自動貸出など、利用者のセルフサービスを促進するライブラリー・オートメーション (L.A.) は急速な進歩を遂げ、サービスの合理化だけでなく、利用者の時間の節約、個人情報の保護に寄与することが認知されてきています。
- ・将来の機器更新を視野に入れながら、投資費用に見合った機器の導入を計画します。

⑤利用者ニーズを踏まえた適切な施設運営

- ・平成 27 年度に実施した吉祥寺図書館利用者アンケート等で顕在化したニーズを踏まえ、開館時間の見直しを行います。
- ・「在り方」で示したビジョンの実現や昨今の社会状況の変化を考慮し、最適な運営形態への転換を図ります。
- ・今回のリニューアルが単純な設備更新にとどまらず、単なる利用者の枠を超えて支え合うなど、吉祥寺図書館が地域のつながりの創出に貢献していけるよう、施策を検討していきます。
- ・工事期間中も一定の図書館サービスが提供できるよう、方策を検討します。



既存の地階の様子



自動貸出機のイメージ

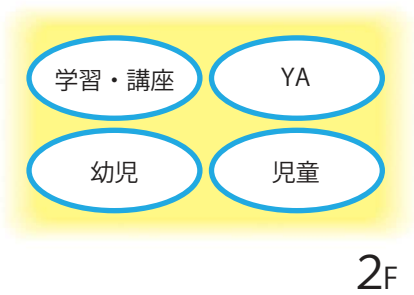


自動返却機のイメージ

(5) 各フロアの整備方針

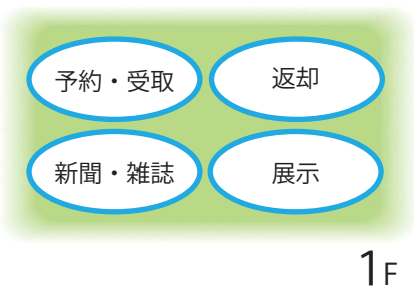
2 階：絵本・児童書と Y A 図書のフロア

- 子どもやその保護者に、より図書館や本を好きになってもらい、気兼ねなく来館してもらうための空間を演出します。幼児コーナーは靴を脱いであがれるようにし、子ども用トイレの改修のほか、おむつ替えスペース、授乳スペースの設置、生活関連本の別置等により、小さな子どもと保護者がくつろいで利用できる場を整備します。
- 現在の集会室を改修し、学習室の設置と、パソコンやスマートフォンが使用できる Wi-Fi 環境の整備、Y A 図書の地下からの移動を行い、Y A が学習に利用できるとともに、居場所としての機能も高めます。



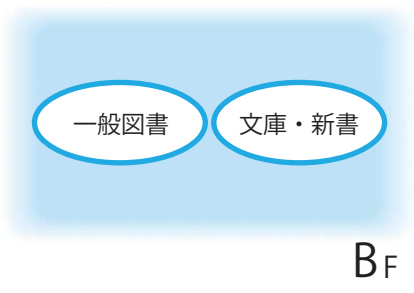
1 階：地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

- 予約、貸出及び返却といった図書館の基本的機能の向上を図るため、自動貸出機の増設、自動返却機の設置によるセルフ貸出及び返却機能、予約取り置きコーナーの整備により、スピーディーなサービス提供、利便性向上と個人情報の保護を図ります。
- 市民も含めた吉祥寺の多くの来街者に気軽に立ち寄って楽しんでもらうことを目的として、他では目にすることのない吉祥寺に特化した地元密着情報や、市民の様々な課題解決に資する時宜になったテーマ展示を提供します。このため、エントランス正面に I C タグ読み取り機能を備えた展示スペースを設置します。
- シニア層をはじめとする吉祥寺図書館を日常的に利用する方には、新聞・雑誌コーナーと隣接する閲覧スペースの充実により、よりくつろいで利用できる場を提供します。
- I C T コーナーを設け、インターネット環境を整備します。また、データベース用 P C を設置します。



地下 1 階：一般図書のフロア

既存書架のかさ上げ、新設書架の設置、Y A 図書の 2 階への移動により、蔵書及び閲覧席の充実を図ります。また、サンクンガーデンや、木製の重厚な書架といった、図書館らしい落ち着いた雰囲気のあるオリジナルデザインを尊重したうえで、現代的な機能更新と、それに伴う内装改修を行います。



(6) リニューアル後の運営形態について

①開館時間

土・日・祝日の閉館時刻を現行の午後 5 時から平日同様の午後 8 時に変更し、開館時間を 3 時間延長します。これは、本年 3 月に行ったアンケート調査で、「土・日・祝日の開館時間の延長」がビジネスパーソン向けサービスの設問で最も回答数が多かったことに加え、人件費、光熱水費等を総合的に勘案したことによるものです。

②管理運営

- 「在り方」で提言した「本をきっかけにした新しいつながりづくり」を実現するため、従来の行政の枠にとどまらない効果的、効率的な管理・運営を行い、吉祥寺のまちづくりに安定的かつ長期的に取り組むことができる運営形態が必要です。
- そのため、管理・運営は、「在り方」であげられた①市・教育委員会との理念の共有と密接な連携②武蔵野プレイスの運営のノウハウを活用した、市民・来館者の適確なニーズ把握及びサービスの提供③武蔵野プレイスの指定管理との一体化による事業の安定的な実施、事業水準の維持及び向上への期待④研修の充実等の人材育成及び、嘱託職員から固有職員への登用制度整備による職員定着の確保、等を行っている組織が適任であることから、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団による指定管理が望ましいと考えます。

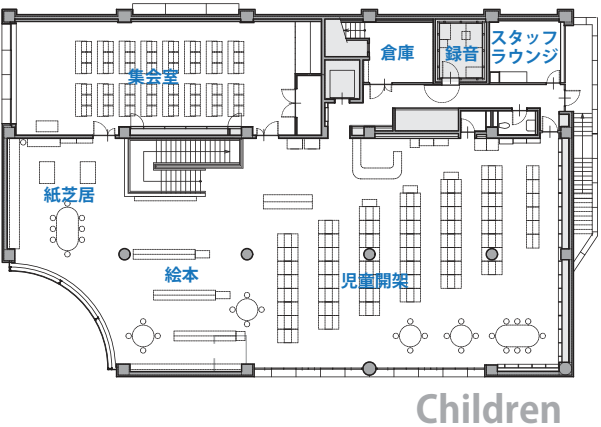
③その他

平成 30 年 4 月リニューアルオープンに向けて、スムーズな開館のために指定管理化に向けた、同事業団による事前の開館準備のための職員の派遣、管理運営方針の策定を進めます。なお、開館後には吉祥寺図書館のサービス継続性等の観点から、当分の間、本市職員の事業団への派遣についても考慮します。

(7) 開館までのスケジュール

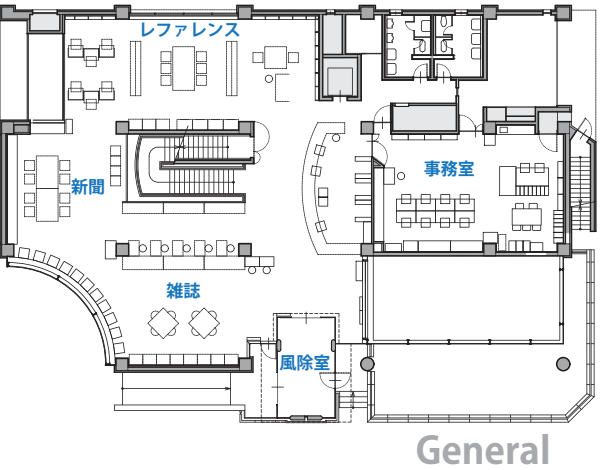
平成 28 年 9 月	改修工事等実施設計開始 リニューアルに関する市民意見聴取
平成 28 年 12 月	図書館条例改正案上程 (指定管理)
平成 29 年 3 月	改修工事等実施設計完了 改修に伴う一時閉館の広報開始 (館内掲示・HP 等)
平成 29 年 4 月	改修工事等契約作業
平成 29 年 9 月	工事のため一時閉館 (平成 30 年 3 月まで)
平成 29 年 10 月	本体工事開始
平成 30 年 2 月	本体工事完了
平成 30 年 3 月	図書館資料・物品・備品等搬入・開館準備
平成 30 年 4 月	リニューアル開館

3. 各階の構成



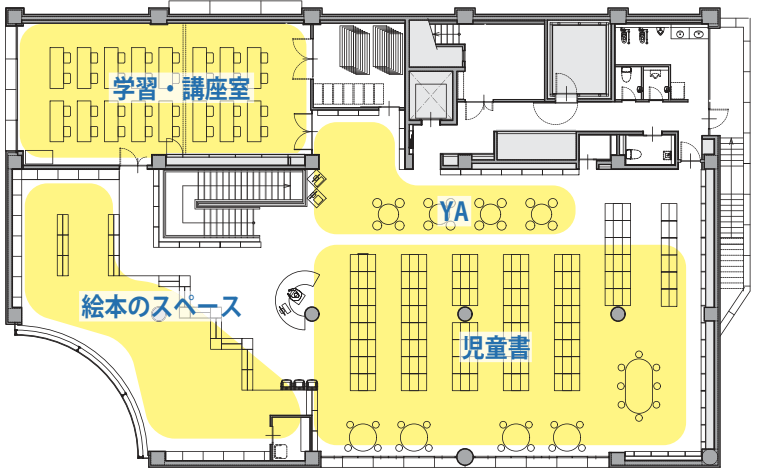
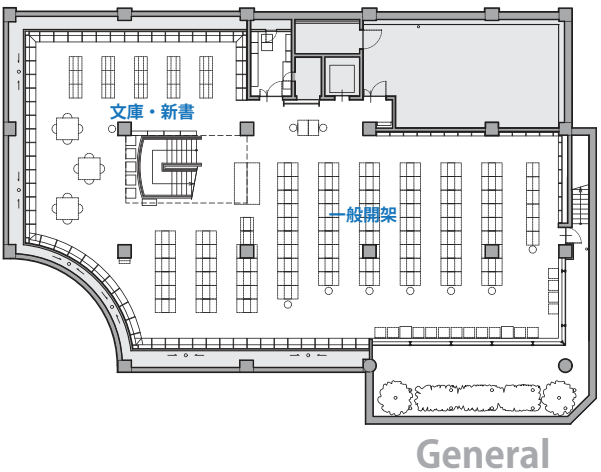
基本理念

小さなオアシス吉祥寺図書館
～気軽に楽しく知的な出会いを～



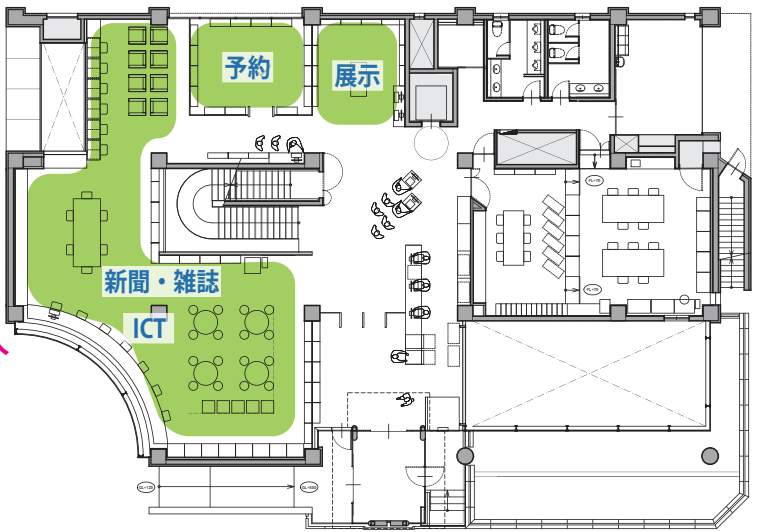
基本コンセプト

1. 施設の有効活用・長寿命化
2. ヘビーユーザーの重視
3. 新たな図書館ユーザーの開拓
4. ライブラリー・オートメーション (L.A.) の導入
5. 利用者ニーズを踏まえた適切な施設運営



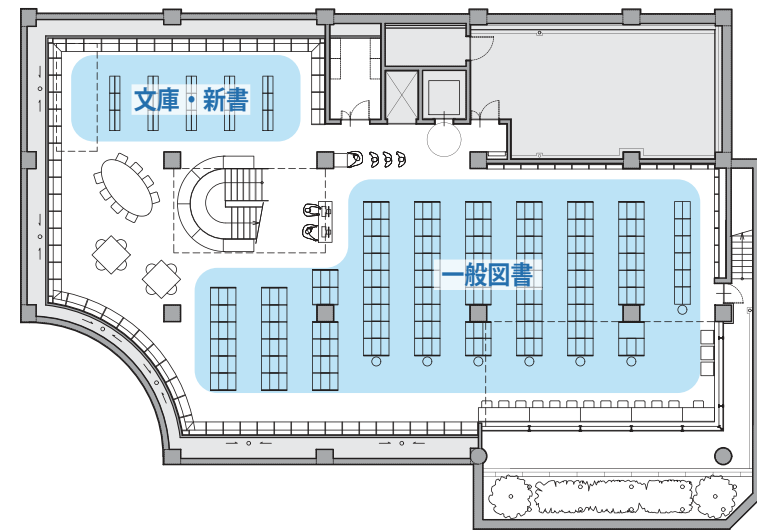
2F 絵本・児童書と YA 図書のフロア

絵本のスペース
児童書
YA コーナー
学習・講座室 (Wi-Fi)



1F 地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア

エントランス
展示コーナー
予約取り置きコーナー
自動返却機
新聞、雑誌コーナー
ICT コーナー (Wi-Fi)



Bf 一般図書のフロア

一般図書
文庫
新書

4. 「吉祥寺図書館の在り方について」（平成 27 年 7 月）の具体化

(1) 利用者層別のアプローチ

利用者	在り方	リニューアル計画
①ビジネスパーソン 利便性の向上	・予約取り置きコーナーの設置 ・自動貸出機の増設 ・土・日・祝日の開館時間の延長	・約 2,700 冊収容できる予約取り置きコーナーを設けます。 ・予約取り置きコーナーには、ＩＣタグ読取機能付予約棚、予約照会機、自動貸出機を設け、予約貸出をセルフ化することで、利用者の利便性の向上とプライバシーの保護を図ります。 ・自動貸出機を現状 1 台から、全 5 台に増設します。 ・土・日・祝日の閉館時間を午後 8 時とし、開館時間を 3 時間延長します。
②子どもと保護者 気軽さの向上	・専用フロアの設置 ・「赤ちゃんオアシス」の実施	・2 階に靴を脱いで幼児と保護者が気兼ねなく利用できる「絵本のスペース」を設置します。また、スペースに隣接し授乳室を設けます。 ・2 階に大人用トイレと子ども用トイレをそれぞれ設置するとともに、数も増やします。
③高齢者 緩やかにつながる場の提供	・ボランティアの募集 ・読書会等のイベントの開催	・学習・講座室は読書会等のイベントやボランティアスペースとしても利用ができるよう整備します。 ・単なる利用者の枠を超えて支え合うなど、施設運営等を自然に担っていただけるようなしくみを検討します。
④青少年 自己表現の場の提供	・吉祥寺図書館への運営参加 ・青少年の作品展示	・2 階に大人用トイレを設置します。 ・学習・講座室は学習スペース、様々な活動や発表の場としても利用できるよう整備します。
⑤ 来街者 ハイパーローカル情報の提供	・本を通じた吉祥寺のまちの人・情報の提供 ・吉祥寺の書店・古本屋情報の提供 ・吉祥寺アーカイブの設置 ・地域の小売店・飲食店情報の発信	・1 階入口正面に展示コーナーを設置し、吉祥寺に特化した地元密着情報の発信とテーマ展示により、吉祥寺の魅力を来街者にも紹介します。 ・吉祥寺を特集した書籍や雑誌のバックナンバー等を収集し、展示します。 ・パンフレット架を新設し、イベントなどの情報も発信します。
⑥ビジネス支援 街の情報の提供と発信	・市や近隣の商工会議所との連携 ・創業、経営支援サービスのパンフレットの配架	1 階入口付近にパンフレット架を新設し、市や商工会議所等の発行するパンフレットやイベントの情報などを掲示し、地域のビジネス支援を行います。

(2) 吉祥寺図書館の施設改修

在り方	リニューアル計画
①予約取り置きコーナーの設置と自動貸出機の導入 ・ＩＣタグ読取機能付予約棚の設置 ・自動貸出機の増設	・予約機能の充実のため、予約取り置きコーナーを設置します。予約取り置きコーナーには、ＩＣタグ読取機能付予約棚、予約照会機、自動貸出機を設け、予約貸出をセルフ化することで、利用者の利便性の向上とプライバシーの保護を図ります。
②展示コーナーの充実 1 階の視認性の高い位置に展示機能を設ける	・1 階入口正面に展示コーナーを設けます。
③各フロアの特徴化 地階：総合蔵書 1 階：展示と予約棚 2 階：家族層 各階の特徴を際立たせる配架や空間にすることで、利便性の向上を図る	・2 階を「絵本・児童書とＹＡ図書のフロア」、1 階を「地元情報、新聞、雑誌、話題の本のフロア」、地階を「一般図書のフロア」とし、それぞれの階の特徴化を図ります。

(3) 望ましい管理・運営形態

在り方	リニューアル計画
図書館を管理・運営する組織が、企画力や調整力、行動力といったマネジメント能力を有する人材を確保することができるとともに、本検討で掲げられた将来像を実現できる組織力を有することが条件	①市・教育委員会と理念を共有し、密接な連携が図られている ②武蔵野プレイスの運営のノウハウを活かせる ③武蔵野プレイスの指定管理と一体化することによる事業の安定的な実施、事業水準の維持及び向上が期待できる 以上のことから、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団による指定管理とすべきと考えます。

(4) 中央図書館を中核とする市立図書館の在りかた

在り方	リニューアル計画
・中央図書館は市立図書館が一体となって有機的に管理運営される図書館システムの中核となり、地区館のバックアップとなる ・中央図書館が市立図書館全体の総合的な企画・運営、資料部門、学校連携や障害者サービス等の奉仕部門の管理を担う	・武蔵野プレイスの開館によって実現した「3 館構想」を維持・発展させます。 ・市立図書館の中核としての中央図書館、一番の好立地にあり、様々な世代が訪れる吉祥寺図書館、図書館以外の機能も併せもち、多様な出会いと交流が生まれる武蔵野プレイスと、それぞれ特徴を持った 3 つの図書館が互に関係しあい、より良い図書館サービスを実現します。